

ぞっくボラン^{第1号}

このコーナーでは、住民と役場職員の協働参画によって作られた宇美町生涯学習ボランティア専門部会から発展したボランティア広報会議のメンバーが、ボランティアをしている人を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけとなるような記事を掲載していきます。今回は、安川博町長に「私とボランティア」についてインタビューを行いました。

プロフィール

いままでも、これからも、宇美町在住

血液型：O型 趣味：読書

星座：天秤座 好きな食べ物：果物(お肉も好き)

安川 博 町長



私とボランティア
座右の銘
「継続は、力なり」

気が短くて何事も長続きしないのが私の短所。
だからこそ、「継続は力なり」を座右の銘に。

① 今まで経験したボランティアの中で印象に残っているものは？

大学に入った頃から25歳まで、青年団に所属しました。その当時、学校などの火災が非常に多く、その中で宇美中学校が火災になった時、高校受験をする生徒のために、模造紙に「宇美中生徒、火災に負けずに頑張ろう！」と書いて、各高校に貼って回った記憶があります。

② これからやってみたいボランティアはありますか？

自分に何ができるのだろうと考えた時、まず自分が住んでいる地域の清掃活動はやりたいと思います。それと、現在、発展途上国の子どもたちが3秒に1人が防げる病気や飢えのため死んでいるという実情に対し、この子どもたちのために、最近よく耳にする「チャイルド・スポンサーシップ」などの協力ができないかと考えています。あとは、地域の自治公民館に地域の文庫を是非作りたいと思います。

③ 現在、町内で活動されているボランティアの方たちへの思いは？

最近は何事もない世の中なので、老人クラブをはじめ多数の方に青少年の見守りをやっていただいていることに非常に感謝しています。また、様々な場面で多くの町民の方々がボランティアとして活躍していただいていることも心強い次第です。役場の職員も、日々の庁舎内外の清掃や、休日に町有地の草刈りなどにも頑張ってもらい、経費削減につながっていることにも感謝しています。

④ これからボランティアを始める方、始めたい方にメッセージをお願いします。

ボランティアといえば、神戸の大震災やタンカーの重油流失の時の活動がよく引き合いにだされますが、やり方はいろいろあると思いますので、長く続けていくにはどうしたらいいかを念頭に置いて活動していただければと思います。また、ボランティアをすることが、決して負担となつてはいけません。自分にできる範囲で無理のない活動をしていただきたいと思います。



ボランティアありきではなく、まず、人と人とのつながりを大事にし、
その中から生まれる奉仕活動ということで良いのでは、ともおっ
しゃっていました。正にボランティアの原点ですね！
今回はペンネーム「ご飯」と「無我」でお届けしました！

